

文学部 カリキュラム・ポリシー

■ 英文学科

英文学科の「卒業認定・学位授与方針」に定められた資質・能力を育成するため、以下の方針に基づき、体系的かつ段階的な教育課程を編成・実施する。

- CP1. 1・2 年次に配置された Core English Skills 科目群では、ネイティブスピーカー教員による少人数授業を通じて、英語の基礎力を体系的かつ集中的に養成する。これにより、学生は英語運用能力を段階的に発展させるための確かな土台を築く。
- CP2. 1・2 年次から開講するコース入門科目群では、「概論科目」および「基礎演習」などにより、専門分野の基礎的知識と分析的思考力を養い、3 年次以降のコース専門科目への学修基盤を築く。
- CP3. 全学年にわたり、アクティブ・ラーニングを導入した少人数の演習科目を展開し、学生が協働して課題を探究する学修環境を整える。これにより、主体的学修力・批判的思考力・協働的問題解決力を育成する。
- CP4. 3 年次以降は、「文化・文学コース」「言語・コミュニケーションコース」「グローバル・スタディーズコース」の 3 コースを設置し、少人数演習を中心とする専門的探究を推進する。これにより、学生は専門知識、異文化理解力、英語運用能力を一層深化させる。
- CP5. Practical English Skills 科目群において、通訳・翻訳・朗読劇・スピーチ等の実践を通して高度な英語表現力を磨く。これにより、国際的場面で即応できる発信力と実践的コミュニケーション能力を育成する。
- CP6. 英語教員・登録日本語教員の養成を目的とする特別プログラムを設置し、教育現場で求められる実践的指導力と教育倫理を培う。これにより、地域・国際社会に貢献できる教育人材を育成する。
- CP7. 英文学科のカリキュラムは、大学の教育理念に基づき、「大学共通科目」を通じて人間的成長と社会的視野を広げることを重視する。人文・社会・自然科学にわたる多様な科目を通して、現代社会における課題を理解するための総合的知識の獲得を目指す。また、英語圏の文学・文化・言語に関する専門的探究の

土台として、「外国語科目」の履修を重視し、学生の国際的視野と異文化理解の基礎を育成する。

■ 心理・応用コミュニケーション学科

心理・応用コミュニケーション学科の「卒業認定・学位授与方針」に定められた資質・能力を育成するため、以下の方針に基づき、体系的かつ段階的な教育課程を編成・実施する。

- CP1. コミュニケーション科目群では、対人関係や社会におけるコミュニケーションについて、理論と実践の両面から学ぶ。演習やフィールドでの実習を通して、共感的に他者とのかかわり、社会の多様な場面で協働できる実践的なコミュニケーション能力を身につける。
- CP2. リサーチスキル科目群（基礎）では、文章執筆や資料収集の基本的方法を身につけるとともに、心理学実験や社会調査に関する科目で科学的探究の方法を学ぶ。データを集め、分析することで人間の心や社会現象を客観的・論理的に理解する基礎力を養う。
- CP3. リサーチスキル科目群（応用）では、3～4 年次に開講される「専門演習」および「卒業研究」で少人数型のゼミナール形式による探究的な学修を行う。これまでの学修を生かしてリサーチの企画、課題分析、発表・討論などに取り組むことで、協働的に課題を解決する力、的確な表現力、データを活用する力、知識を実践に応用する力をさらに発展させる。
- CP4. 専門科目群では、心理学を基盤として「心理・行動科学」「地域国際・メディア」の2つの科目群を設置する。各分野の専門的・学際的な知識を体系的に学ぶことで、個人・地域・国際社会など様々な視点から課題を捉え、主体的に解決へと導く力を育む。